

スマホで視聴
できます▼



みうら ちひろ 議員
三浦 千尋

本町政策予算の考え方は

町長 将来世代への戦略的投資を重視

治体財政と地域経済の活性化を示す重要な指標である。防衛調整交付金の基金積立を勝ち取った成果を高く評価する。今後の見通しを伺う。

町長 令和4年度以降は回復基調であり、概ね50%で推移すると見込む。調整交付金の基金繰入とふるさと納税の二本柱で、50%を維持・確保していく。

企業誘致について

問 F-35B整備拠点の誘致、スマートIC周辺開発、三納代地区の企業誘致は二度とない好機であり、全町を挙げて早急に取り組むべきと考える。町の方針を伺う。

町長 関連企業への働きかけは既に行っており、可能性を探りながらタイミングを模索している。県内には半導体関連企業が46社あり、誘致の可能性はありと考える。



就労場所で人口維持を

F-35B騒音対策について

問 F-35Bの騒音は音質・音量とも増大しており、調査のスピードアップと防音工法の再考が必要と考える。町の対応を伺う。

町長 F-35Bの運用に適した防音工事となるよう、防衛省に対し継続して要望している。重低音で体に響くとの住民の声も把握しており、適切な対策を求めている。

問 難聴を訴える住民の声が増えている。セット健診に聴力検査を加えるべきと考えるが、町の見解を伺う。

町長 町民の健康把握のためとして、実施は可能であると考え。財源も含め検討したい。

移転対象者の宅地確保について

問 代替地不足により町外へ移転せざるを得ない事例が生じている。町の存亡に関わる課題と捉えるが、町の対応を伺う。

町長 町外移転は人口減少につながる重大問題である。区域見直しに伴い、将来の宅地確保の必要性を踏まえ、引き続き検討する。



住まいづくりと農地保全の両立へ

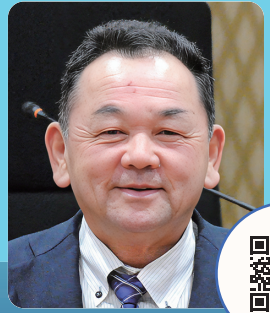
自主財源比率と今後の見込みは

問 自主財源比率の向上は自

問 基金運用は町内への投資であり、短期・中期・長期の利益が将来の町の基盤をつくるものであると考える。国の基金が急増し、運用の不透明性が指摘されているとの報道もあるが、地方の基金にまで影響が及ぶ懸念はないか伺う。

町長 基金は将来への備えと成長を引き出す財源として活用している。財政調整基金の過多が交付税に影響するとの議論は国にあるが、地方の基金運用に国が直接介入することは妥当ではないと考える。

スマホで視聴
できます▼



いまむら ぶら けい のぶ 議員

問 F・35Bの運用が始まり、防音工事が完了している住宅においても、受忍限度を超える騒音により「会話ができない」「やかましくて耳栓が必要」「テレビの音が聞こえない」などの声を聞く。私自身も何度も経験している。これは、防音工事後に遮音性能が低下しているか、あるいは現行の住宅防音工事では対応できていないのではないかと考えており、まず遮音性能を調べるのが重要だと考えるが、町長の認識を伺う。

町長 現在のF・35Bのスローランディング時の騒音に対して、防音工事の機能が十分に発揮されているのかについては、調査を行うよう要望している。防音工事が完了した住宅についても、

現行の防音工事はF・35Bの騒音に適しているか

町長 基準を満たすか再検証が必要

機能が発揮されているか検証が必要であると考えており、今後もしっかり議論してまいりたい。

飛行訓練の回数は



飛行実態を確かな記録に

問 現在8機が配備され、昨年11月から訓練が始まり4カ月が経過した。住民の騒音負担も

増えてきている。今年2月の目視調査で確認された訓練飛行回数と最大騒音値を伺う。

町長 (基地対策課長) 2月は6機が訓練を実施し、日中は210回、夜間は42回を確認した。最大騒音は117.3デシベルである。

NHK受信料の復活

問 平成30年度にNHK受信料補助が廃止されたが、F・35Bの騒音には効果がないのであれば、受信料補助を復活しても問題ないかと考えるが、町長の認識を伺う。

町長 補助金適正化法により廃止となった制度であり、復活させることは難しいと考える。国が防音工事の機能を高め、今後は国が防音対策と財源措置をしっかりと行うことが重要であると考えます。

新田西地区圃場整備事業について

問 新田西地区圃場整備事業の進捗状況と工事着手の時期について伺う。

町長 相続未了地の発生や所有者不明地の確認などに時間を要したことで、基本設計に遅れが生じ、令和8年度中の着手は困難となった。現在は関係機関と相互に協力し、相続問題等の解決に向けて取り組んだ結果、一定の目途がついた。今後は基本設計、営農計画、換地計画等の事業推進を図り、早期の工事着手を目指している。



早期整備で生産効率向上に期待

スマホで視聴
できます▼



かねひさ
い び 兼 久 議員

F-35B に関して自衛 隊との交渉について伺う

長 防衛省および基地と、しっか
町 リと交渉・調整を行っていく

問 F-35B 着陸訓練につい
て、基地との協定等はあるのか
伺う。

町長 協定は締結していない
が、防衛省・新田原基地・町の
二者間で、飛行ルートの調整や
騒音対策、防音工事などについ
て継続的に協議している。

問 一人2万円的生活環境影
響対策給付金は英断である。朝
8時〜8時15分の離陸自粛を調
整してほしいが町長の考えを伺
う。

町長 訓練時間帯の調整は重
要であり、朝の時間帯や夜間の
騒音軽減について引き続き調整
を進める。住民負担を少しでも
減らすため、継続的に協議を行
っていく。

問 整備拠点誘致の現状は。

町長 関係機関と課題整理を
進めており、実現性を見極めな
がら検討を継続している。



街をそっと支える安心の目

危機管理について

問 防犯カメラ設置について、
次年度は何から着手するのか。

町長 防犯カメラは犯罪抑止、
行方不明者の捜索、児童生徒の
見守りなどに効果が大きい。一
方で、プライバシー保護や映像

データの扱いなど慎重な検討が
必要である。まずは設置・運用
に関するルールづくりを行い、
閲覧権限、保存期間、撮影範囲
などを明確化する。

農業関連について

問 国の農業構造転換集中対
策を踏まえ、新富町の農業をど
う進めるべきか町長の考えを伺
う。

町長 農業は本町の基幹産業
である。水田農業では農地のフ
ル活用と高性能機械の導入によ
る生産性向上、施設園芸では環
境制御装置等による省エネ化、
畑作ではドローン活用による省
力化、耕畜連携による資源循環
型農業の推進、畜産では自給飼
料の確保などを進めている。今
後はスマート農業の導入、担い
手確保、圃場の集約化、基盤整
備を計画的に進め、持続可能な
農業の確立と所得向上を図る。

一ツ瀬川県民スポーツセ ンターについて

問 ゴルフ場の今後の方向性
について伺う。

町長 県企業局から施設休止
と今後の在り方検討の意向が示
されたが、町民利用の多さ、従
業員の雇用、コース維持の観点
から、町が運営を引き継ぐ方向
で協議を進めている。土地・建
物の将来的な譲渡を見据え覚書
を締結し、令和8年度は貸付を
受けて運営する。条例案および
指定管理料予算案を提出してお
り、4月の再開に向け準備を進
めている。



変わらない憩いを、次の世代へ

令和8年1月臨時会 議案等の審議結果

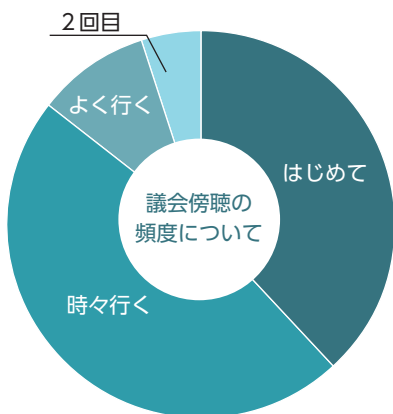
番 号	件 名	結 果	
議案第 1号	令和7年度新富町一般会計補正予算	可決	全員
承認第 1号	専決処分の承認を求めることについて(令和7年度新富町一般会計補正予算)	承認	全員

令和8年3月定例会 議案等の審議結果

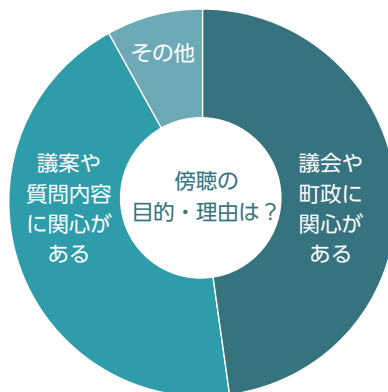
番 号	件 名	結 果	
議案第 2号	令和7年度新富町一般会計補正予算	可決	全員
議案第 3号	令和7年度新富町国民健康保険特別会計補正予算	可決	全員
議案第 4号	令和7年度新富町介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算	可決	全員
議案第 5号	令和7年度新富町後期高齢者医療特別会計補正予算	可決	全員
議案第 6号	令和7年度新富町介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)補正予算	可決	全員
議案第 7号	令和8年度新富町一般会計予算	可決	全員
議案第 8号	令和8年度新富町国民健康保険特別会計予算	可決	全員
議案第 9号	令和8年度新富町介護保険特別会計(保険事業勘定)予算	可決	全員
議案第 10号	令和8年度新富町後期高齢者医療特別会計予算	可決	全員
議案第 11号	令和8年度西都児湯情報公開・個人情報保護審査会特別会計予算	可決	全員
議案第 12号	令和8年度新富町土地取得特別会計予算	可決	全員
議案第 13号	令和8年度新富町介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)予算	可決	全員
議案第 14号	新富町一ツ瀬川スポーツレクリエーション施設の設置及び管理に関する条例	可決	全員
議案第 15号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第 16号	職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第 17号	新富町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第 18号	新富町重度心身障がい等児童福祉手当支給条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第 19号	新富町重度障がい者(児)医療費助成に関する条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第 20号	使用料改正に伴う関係条例の整理に関する条例	可決	全員
議案第 21号	工事請負契約の締結について(令和7年度 再編関連訓練移転等交付金事業富田浜入江線道路改良工事(2工区))	可決	全員
議案第 22号	物品売買契約の締結について(令和7年度 職員用パソコン購入(その2))	可決	全員
議案第 23号	物品売買契約の締結について(令和7年度 新富町貨物自動車(スライド式ダンプトラック)購入)	可決	全員
議案第 24号	物品売買契約の締結について(令和7年度 新富町貨物自動車(クレーン機能付きトラック)購入)	可決	全員
議案第 25号	財産の無償譲渡について	可決	全員
議案第 26号	公の施設の指定管理者の指定について(新富町一ツ瀬川スポーツレクリエーション施設)	可決	全員
報告第 1号	専決処分の報告について(令和7年度再編関連訓練移転等交付金事業富田浜公園整備工事請負変更契約の締結について)	—	—
報告第 2号	専決処分の報告について(損害賠償の額を定め和解することについて)	—	—
報告第 3号	専決処分の報告について(令和7年度 新富町文化会館天井他改修工事(2工区)請負変更契約の締結について)	—	—
報告第 4号	専決処分の報告について(令和6年度 富田浜公園改修工事請負変更契約の締結について)	—	—

議会傍聴アンケート <回答者 19名>

議会傍聴について

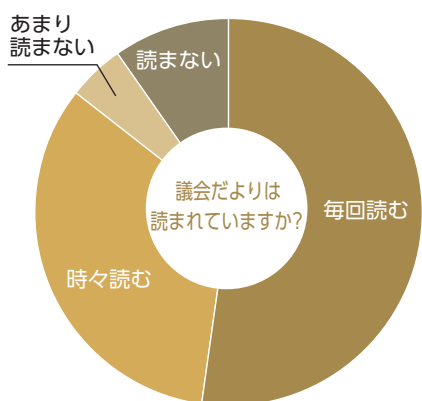


■ はじめて
■ 時々行く
■ よく行く
■ 2回目

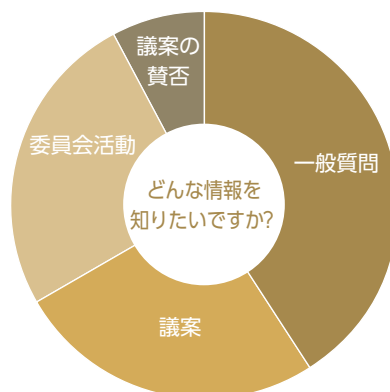


■ 議会や町政に関心がある
■ 議案や質問内容に関心がある
■ その他

議会だよりについて



■ 毎回読む
■ 時々読む
■ あまり読まない
■ 読まない



■ 一般質問
■ 議案
■ 委員会活動
■ 議案の賛否

傍聴環境に関する不満や要望

- ・ 質問や答弁が早口で聞き取りにくい。ボリュームを上げてほしい。
- ・ 傍聴席から議員の姿が見えない。
- ・ 傍聴者が少ないのは残念。
- ・ メモが取りにくいので板（ボード）が欲しい。
- ・ アンケート記入用のボードがあると書きやすい。
- ・ メモ用にバインダーがあると良い。

議会傍聴そのものへの感想

- ・ 議場で傍聴すると、議会だよりでは分からない雰囲気や口調が伝わり、理解が深まった。
- ・ 町政の問題点や取り組み状況が理解できて良かった。
- ・ 自分も大変勉強になった。
- ・ 多角的な視点から意見が聞けて勉強になった。
- ・ 高齢者支援の対策や町の現状を知ることができた。

アンケート結果を踏まえての所感

令和7年度は、延べ72名の方に傍聴いただきました（3月7名、6月15名、9月18名、12月32名）。アンケートでは、「議会や町政に関心がある」「議案や質問内容に関心がある」という回答が多く、議会活動への期待の高さがうかがえました。また、議会だよりに関しては、「一般質問を知りたい」という声が多く寄せられ、情報発信においても引き続き重点的に取り上げてまいります。

総務産業常任委員会行政調査

商店街全体を一つのホテルに見立てて運営する「SEKAI HOTEL Osaka Fuse」を視察。



提携する銭湯・飲食店でのサービスなど、町全体が一つのホテルとして機能する仕組みを体験。



元和菓子屋さんをリノベーションした客室に滞在。

- 所感 -

今回の視察では、空き家や空き店舗を客室として再生し、商店街や銭湯と連携して地域全体を“宿泊体験の舞台”とする分散型ホテルの取組を学んだ。元衣料品店を活用したフロントや、元和菓子屋を改装した客室での滞在を通じ、地域資源を生かしたにぎわい創出の可能性を実感しました。

この事業は企業が主体となり、空き家所有者や商店街へ働きかけて進めている点も特徴的である。新富町での導入には検討が必要だが、空き家活用や商店街との連携など、多くの示唆を得た。今後も町の活性化に資する取組を研究したい。

基地対策特別委員会行政調査



嘉手納基地（道の駅かてな）



沖縄防衛局

- ・遮音壁の効果は約10dBの騒音低減との説明。
- ・嘉手納基地周辺の騒音コンターは広範囲が85W区域に指定。区域見直しの可能性について示唆を得た。



普天間基地（嘉数高台公園）

- 所感 -

F-35Bの配備・運用に伴う騒音対策として、嘉手納基地周辺遮音壁等の視察を通じ、遮音壁は一定の効果があるものの、費用対効果を踏まえると緩衝緑地帯などの整備も有効であると感じた。また、F-35Bの騒音が住民負担の最大要因であることを再確認した。騒音区域の見直しに向け、委員会として理解を深め、国への要望活動が実効性を持つよう今後も取り組む必要があると強く感じた。

広報特別委員会行政調査・研修報告



紙面からホームページへと誘導



「自然と見たくなる」「クリックしたくなる」ように導く手法（ナッジ（Nudge）デザイン）。

今回の開成町議会の視察を通じ、広報は単なる情報発信ではなく、町の未来を形づくる重要な基盤であることを改めて実感した。紙と動画を組み合わせた「二層構造の広報」や若年層への継続的なアプローチ、議会全体で広報を担う体制づくりは、新富町議会にとって大きな示唆となった。また、広報改革には意欲だけでなく、継続できる仕組みと現実的

な費用設計が不可欠である。開成町ではウェブ委託費を5年間で1,000万円と明確に設定しつつ、動画編集などは議員が担うことで運用コストを抑えていた。新富町でも、外部委託と内製化の線引きを明確にし、限られた予算で最大の効果を生む広報のあり方を検討していく。



●全国町村議会広報クリニック●

講師の前田先生から本町議会だよりの改善点を学びました。「伝えるべきこと」を簡潔に書く重要性を再確認し、住民に信頼される広報づくりへの視点が大きいに得られた研修でした。



3月定例会期中の現地調査



車載式枝刈り機の機械操作には熟練技術が求められ、早期の技術習得が重要だと感じた。



日向新富駅の改札機設置とバリアフリー化の進展を確認。誰もが利用しやすい環境整備が着実に進んでいると感じた。



文化会館の天井改修では狭所での作業など改修特有の苦労が見受けられた。見えない部分の努力に支えられた会館を、安心して利用していただきたいと思います。

新人議員紹介



町民の皆様の温かいご支援により、町議会議員に初当選いたしました屋宜直美（やぎなおみ）です。現役で子育てに向き合う母として、またひとり親家庭の当事者としての経験

を生き、多様な視点から新富町の未来づくりに取り組んでまいります。

町民の皆様の声に真摯に耳を傾け、一つひとつの課題解決に誠心誠意努めてまいります。

町民の皆様、よろしくお祈りします。



PICK UP

宮崎県新富町議会だより



日向新富駅



チャレンジフィールド



平和公園



新馬場地区集会所



竹渚地区集会所



上新田学園前
松永さん宅



田中地区集会所

発行責任者／新富町議会議長

阿萬誠郎

街を彩る花々を支えてくださる皆様に深く感謝申し上げます。特に無償ボランティアの皆様の献身的な手入れは、街に潤いを与え、人々の心を癒やす大きな力となっています。町民の皆様も、ぜひ大切に育てられた花々を愛でに足を運んで、温かで穏やかな春の訪れを感じてみませんか。



アメリカとイスラエルが「イランの核開発阻止」を掲げて大規模な軍事攻撃を開始してから1カ月以上が経過しました。イランも反撃に転じ、ホルムズ海峡の封鎖や周辺国への攻撃を行い、その影響で原油価格が高騰しています。

日本でもガソリン価格が上昇し、一部では1リットル200円を超える地域もありました。政府は補助金投入や備蓄原油の放出で、現在は約170円まで下がっていますが情勢は不安定です。物価高が続く中、さらなる家計への影響が懸念されます。イラン情勢もウクライナ情勢も、一日も早い終結を願うばかりです。
しゅんじ

議会広報特別委員会

- 委員長 羽田野 治
- 副委員長 小山 早苗
- 委員 今村 行信
- 松浦 美緒
- 石崎 俊二
- 損斐 兼久

連絡先 議会事務局
電話 33-6139

印刷／ふくしげ印刷